

みんなのちから

3月27日(水) ~ 3月31日(日)

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設へ出発	仲間作りゲーム 研修(クラフト)	研修(ナイトハイク)
2日目	研修(ハイキング)	研修(野外炊飯)	研修(まとめ)
3日目	研修(キャンプファイア)	お出迎え レクリエーション	ナイトハイク
4日目	野外炊飯	野外炊飯 全体ゲーム	キャンプファイア
5日目	清掃、クラフト	施設を出発、解散式	

一日目： 今日からリーダー体験キャンプが始まりました。リーダーへの想いが強い6人の参加者と共に施設へ向かいました。行きの車内で、自己紹介や簡単な手遊び等をして、しっかりとアイスブレイクができました。施設に到着すると、昼食を食べ、本格的にキャンプが始まりました。まずは、体を動かすレクリエーションや声を出せるレクリエーション、協力して解決するレクリエーションをしました。ここでは、仲間意識の高まりと話すことを重きにおいて活動を展開しました。その後は、リーダーとして絶対に必要な名札作りを行いました。名札の意味やポイント、注意などを真剣に聞き、まとめ、飾りに必要な材料を集めに行きました。各々デザインを考えながら作り、どの作品もオリジナル溢れる作品になりました。夕食を食べ、その後はナイトハイクに出かけました。3日目に行う為に、話す内容や夜の自然を感じてもらう為の方法、雰囲気をつかむ為に出かけました。明日は、登山や野外炊飯などを通して、リーダーとして必要な意識作り、存在の理解などを学んでもらおうと思います。

二日目： 朝から火の起こし方のメカニズムの説明から始まり、朝食はその火を活かして棒焼きパンを行いました。なかなか焼けないパンにウズウズされていましたが、ふっくら焼けたパンが出来た時、嬉しそうにジャムやバターをつけて食べていました。朝食後、朝後山を登山しました。昨日から引き続きバディを組み、二人で沢山会話をされながら登っていました。さすが高学年！！ハイペースで登っていたので、すぐに展望台に到着する事ができました。

山頂でお弁当を食べました。本当に景色も良く、気温も暖かく、清々しく食べる事ができました。帰ってきて少し講義の後、野外炊飯を行いました。4日目の本番に向けての練習をかねて沢山の技術を伝えましたが、それでも本番を想定して、必死に動かれていました。最後にリーダーとは？という話をしました。この頃にはみんな刻一刻と近づいてくる本番に対して、緊張や焦り、不安が隠せないほど露わになっていました。それでも、頑張ろう！！と自分達で励ましあっている姿から彼らの本気を伺う事ができました。明日から実際の体験キャンプが始まります。ドタバタは間違いありませんが、それでもみんなの一生懸命を支えていきたいです。

三日目： 午前中からただならぬ緊張が終始漂っており、みんな一人一人本番に向けて準備を整えているようでした。午前中に自分のグループのお友達の名札を作り、キャンプファイアの練習、最後の確認を行いました。昼前に後発のお友達が到着し、緊張はピークに達していました。それでもみんなの想いは強く、大きく、確固たる決意がありました。昼食時も暇があればタイムテーブルの確認を行い、本番に備えていました。午後からは合流し、とうとう始まりました。自己紹介もしっかりと考えてきていたの言うことができ、スタートは順調かな？と思いきや、この後のレクリエーションでは、各グループでんてこ舞いになっていました。夕食後からグループのメンバーも徐々にキャンプに慣れ始めてきたので、スムーズに動いてきました。夜のプログラムとして、ナイトハイクを行いました。事前に下見を何度も行ったので、説明や紹介など比較的できたのではないかと思います。メンバーも暗かったけど、楽しかった！！と言ってもらえる事ができました。今日のプログラムが全て終わり、ジュニアだけで打ち合わせを行いました。みんな心身共にヘトヘトで疲れ切っていましたが、それ以上に自分の出来なから悔しさが滲み出ていました。沢山話をしました。厳しいことも言いました。頑張ったことも言いました。それらを受け入れる事ができるほど大きく成長されたのが何より嬉しかったです。明日からの彼らがとても楽しみです。



四日目： 昨日の夜のジュニアミーティングより話し合ったことを自分達で沢山話し合ったのでしょう。朝から雰囲気が違うのが一目でわかりました。朝の集いを行った時も、昨日より大きな声で、身振り、反応で動いており、必死さが出ていました。朝食後、野外炊飯を行いました。2日目の夜に一度行っている、それを活かして行っていました。作り方の説明から実際の調理はとてもスムーズに進み予定時刻より早く完成することが出来ました。味ももちろん美味しく、みんな笑顔で食べていました。ジュニアの目標の一つである、『楽しい食事時間をつくる』ことにもチャレンジしており、ごちない会話でしたが、試みは十分に感じる事が出来ました。片付けは少し疲れたのか、ペースダウンしていました。中には、リーダーというポジションを忘れ、参加者と同じく洗い物に没頭していたり、談笑していたりする光景が見られました。こちらから軌道修正を促す事で、なんとかリーダーというポジションを保つ事ができましたが、心身共にギリギリだったと思います。レクリエーションをした後、ゆっくりとする時間がありました。休むかな？と思っていましたが、そんな事なくグループと一緒に過ごしている姿があったので、グループへの意識が非常に強くなっている、と感じました。夕食時、早く食べ終え、キャンプファイアの出し物の練習をしていました。本当に良い物を作りたい。その想い一心で頑張っている姿は本当に素敵で、貴重な体験だと思います。もちろん、練習の成果は十分に発揮し、キャンプファイアは大成功に終わりました。就寝後のジュニアミーティングでは、昨日の内容とは比べものにならないぐらいグループへの深い質問が飛び交っていました。一日でここまで成長できる彼らの成長は本当に素晴らしいです。



五日目： キャンプ最終日が始まりました。4日目同様、夜に打ち合わせした事をじっくり自分に落とし込み、自分なりに考えて、朝から実行に移していました。朝食後、清掃の時間も率先して声かけをしておりました。リーダー自らするのはなく、リーダーも一緒になってやっている姿がありました。清掃後、思いで作成として、工作を行いました。グループ間の距離が今まで比較的近かったのですが、今回は見えないぐらい離れ、活動をしました。すると、より一層グループの意識は高くなり、和気あいあいの雰囲気でした。そのような状況だったので、ジュニアのみんなもグループのみんなと向き合っていたと思います。ほのぼのとした時間が流れていました。昼食の弁当をグループごとに食べ、最後の時間を存分に過ごしていました。施設を出発する時間になり、別れを告げ、バスに乗り込みました。車内でもグループは盛り上がり、あるリーダーが「今まででこんなに盛り上がっている車内は見たことがない」と言わせるほどでした。尼崎に到着し、解散の時を迎えました。ジュニアのみんなにとったら、やっと…、と思いきや、そうではなく、別れを惜しみ、最後まで自分のグループのメンバーと話し、手を振っていました。全員と別れを告げた後、みんなで最後の振り返りを行いました。自分達の今までやってきたことを振り返り、思い思いのもと話をしていました。証書をもらい、解散を迎える時、みんな泣いていました。本当に皆さん、お疲れ様でした。

<キャンプ総括>

今までお兄さん、お姉さんとしてグループの頼りにされていたメンバーがリーダーとして、正式に参加者から頼られる。ジュニアリーダー(以下 Jr. と略)にとって今まで憧れていた事が叶うキャンプでした。その憧れをより良くするために、前半では、徹底した心技体を伝え、同時に意識付けを行ってきました。一日目こそ、まだお気楽ムードでしたが、二日目の屋頃から一転、お互いを促しあっておられました。三日目から後発のメンバーと合流し、今まで頑張ってきたものが、本人達の中で音を立てて崩れていったのを感じました。毎夜、皆泣き、悩み、葛藤し、それでも決して諦めない姿はとても勇ましく、また前半に培った内容が徐々に生きてきました。Jr. 達自身、気付き、考え、行動されていました。特に、寝る間も惜しんで、夜話し合われている姿は本当に素晴らしかったです。彼らの頑張りはグループにも伝わり、グループのメンバーからも Jr. に向けて、声が出てきました。合流してからの期間は二泊三日でしたが、Jr. にとって、とてつもなく長い時間だったと思います。苦しく、険しいキャンプを乗り越え、自分達のグループを見送り、無事に終わった時 Jr. 達から、大きなため息と、喜びと、止めどない涙が溢れんばかり出ていました。私達の予想を遥かに越える達成感があったのだと思います。また、我々も彼らから沢山気付かされ、学ばされる事がありました。彼らに負けないぐらいの大きな気持ちで、リーダーという大役を臨んでいきます。

(竹中 哲郎)